

# 2022年度環境報告

2022年度当社における環境マネジメントシステム活動について、簡略ながら報告致します。

## 1. 外部審査結果

外部審査機関によるサーベランス審査（JIS Q 14001：2015）を11月24日掛川工場・25日白岡工場で受審し、不適となる事項はありませんでした。

## 2. 環境目標の達成度

運用実績は以下の通りです。

### ① 電力

目 標：2021年度使用効率を基準とし2022年末までに1%向上する

結 果：電気使用効率は製品構成の変化と6月~7月の平均気温が平年を上回り空調設備の使用増加の為、目標に対して1.24%低下となり目標達成できませんでした。電気総使用量は設備稼働時間が増加の為、目標に対しては3,337kwh・1.14%増加し、目標達成できませんでした。

### ② ガソリン

目 標：2021年度燃費を基準として2022年末までに1%向上する

結 果：営業車の燃費は、公共交通機関の利用が増え、短距離走行が多くなった結果、目標に対して8.04%達成できませんでした。前年に対しては7.13%低下しました。

### ③ プロパンガス・都市ガス

目 標：2021年使用量を基準として2022年末までこれを維持する

結 果：プロパンガス・都市ガス総使用量は、6月~7月の平均気温が平年を上回り空調設備の使用増加の為、目標に対して15.60%増加し目標を達成できませんでした。

④ 一般廃棄物

目 標：2021年度排出量を基準として2022年度末までに1%削減する

結 果：一般廃棄物総排出量は、分別廃棄の徹底を継続しましたが、目標に対して5.77%増加し、目標を達成できませんでした。

⑤ 廃プラスチック

目 標：2021年度排出量を基準として2022年度末までに1%削減する

結 果：廃プラスチック排出量は、不要物の処分を行ったことにより、目標に対して64.70%増加し目標達成できませんでした。

⑥ 古紙排出率

目 標：2021年度排出率を基準として2022度中に0.2%削減する

結 果：古紙排出率は、余枚管理の継続と工程ロス削減により0.62%削減し、目標を達成しました。

⑦ 設計開発

目 標：2021年度末までに環境に配慮した改善提案を200件行う

結 果：環境に配慮した改善提案は、169件で提案され目標達成できませんでした。

3. 法規制及びその他の要求事項の遵守状況

特に問題ありません。

4. 利害関係者からの情報又は、社会環境の変化

ステークホルダーのCSRに関する関心がより一層高まり、環境・情報セキュリティ・持続可能性等企業の社会的責任に対するアンケートが増加しています。利害関係者からの苦情等はありませんでした。

5. 新たに生じた著しい環境側面の変化

発生していません。

## 6. その他の諸事項

活動は問題なく推進しております。

## 7. 総括

工程ロス削減等生産性向上活動を推進しましたが、残念ながら目標未達成項目が増えてしまいました。来年度は更なる工夫と改善を推進します。